

重点施策

① 「医療の再生」

「医療の再生」については、まず、医師確保に全力を尽くすことが大切です。そのため病院事業会計では「魅力ある病院」を目指し、内閣府から三重県が指定を受けた「みえライフイノベーション特区事業」の実施や、伊賀地域で初の「がん診療連携推進病院」としての指定を受け、緩和ケアや相談機能の強化を図ること、また厚生労働省が主催する終末期患者の栄養療法における日本のガイドラインの作成メンバーとして参加することなどにより、常勤医師を3名、看護師を8名増員し、6階病棟を再開することを目標として収益増を見込んでいます。

しかしながら、一方では、運営経費の不足が懸念されるため、一般会計からの財政健全化のための補助金2億円を計上しています。

- 救急医療確保補助金 1億4,863万円
- 医師確保対策補助金 1億6,346万円
- 財政健全化補助金 2億円



担当課：上野総合市民病院
庶務課

② 「ムダのない財政」

「ムダのない財政」では、新庁舎建設を取りやめ、「庁舎整備及び南庁舎活用計画」策定経費を計上し、本庁・支所の適正な規模を基準として、南庁舎の活用案を含めた庁舎整備計画を市民の皆様とともに考えて行きます。

上野西小学校増築事業では経費を節減し計上していますが、校区についても見直しを行い、よりよい教育環境整備に努めます。

河合小学校建設事業についても、仮設校舎の見直しを行うことで経費を削減していますが、通常よりも耐震強度を高めた災害に強い校舎となるよう、すみやかに事業を進めます。

このように、事業費を見直し、起債の縮減を図った結果、市債借入額が約 53 億円に対し公債費の元金償還金は約 60 億円となり、借り入れた金額よりも約 7 億円多く返済することになっています。

- | | |
|------------------------|--------------|
| ・ 庁舎整備及び南庁舎活用計画策定業務委託料 | 948 万円 |
| ・ 上野西小学校建設事業 | 1 億 5,464 万円 |
| ・ 河合小学校建設事業 | 4 億 4,515 万円 |



担当課：管財課
教育総務課
財政課

起債…地方債（市債）を発行すること。

③ 観光・農林業の再生

「観光・農林業の再生」では、「観光立市の確立」にむけて着地型観光推進事業経費を新たに計上したほか、「伊賀産」ブランド商品の販売促進のため、東京で「伊賀市物産キャンペーン」を開催する経費を計上しています。これらの事業は、従来のような単発的なイベントではなく、顧客となる対象者をしぼり、長期間にわたりその効果が持続するものにしたいと考えています。

また、観光立市として城下町の風情を活かすため、銀座通りの植栽を「八重桜」と「黒松」に変更する予算化も行っております。

林業では、優良木材の育成や間伐材の利用促進を図るため、間伐経費や搬出・運搬経費の一部を助成します。

<観光>

○着地型観光推進事業経費 400万円

旅行者を受け入れる側の地域（着地）側が、その地域でおすすめの観光資源を基にした旅行商品や体験プログラムを企画・運営する形態が「着地型観光」で、伊賀市の様々な観光資源を生かし、旅行者を呼び込むことで観光を推進していきます。また、着地型観光の調査・研究及びパンフレット作成を行います。

○観光情報等発信経費 200万円

観光客誘客のため、あらゆる媒体をターゲットとして、観光情報を効率的、且つ効果的に発信していく、トップセールス経費です。

○城下町にふさわしい景観整備 850万円

銀座通りの植栽を城下町の風情に合った「黒松」と「八重桜」に植え替えます



担当課：観光戦略課
都市計画課

<農業・畜産業>

○伊賀産ブランド商品の販売促進 651 万円

「伊賀産」ブランド商品の販売を促進し、特産品の販路拡大と生産者の生産意欲向上を図るため、東京での食材フェア開催委託料や、フェイスブックによりファンページを開設し、食材のPRやお店紹介を行う経費です。

<林業>

○間伐材搬出支援事業 275 万円

国・県の間伐補助事業で伐採された間伐材の利用を促進するため、市内原木市場までの運搬費用の一部を補助します。

○緊急間伐・搬出間伐推進事業 1,101 万円

緊急に間伐すべき森林について、間伐経費と搬出費用の一部を助成します。
(従来の緊急間伐推進事業に、搬出費用を上乗せ補助します。)



担当課：農林振興課



分権・自治

住民自治協議会推進経費

1億8,382万円



伊賀市自治基本条例に基づき、住民自治協議会の活動を支援するための交付金です。

各住民自治協議会が地域まちづくり計画に基づき、地域の実情に合わせた優先的課題や、市との基本協定による協働で取り組む業務について交付します。

担当課：市民活動推進課

地区市民センター整備事業

1億5,402万円



直接市民と接する行政の地域窓口である地区市民センターの整備を行います。

本年度は、古山地区市民センター新築工事や旧の中瀬地区市民センターの解体工事などを行います。

担当課：市民活動推進課

地区公民館建設費補助金

705万円



市では、住民自治活動を支援するため、自治会や区が管理する地区公民館の新築・増改築などを行う場合、事業費の一部を補助しています。

担当課：市民活動推進課

地域活動支援補助金

500万円



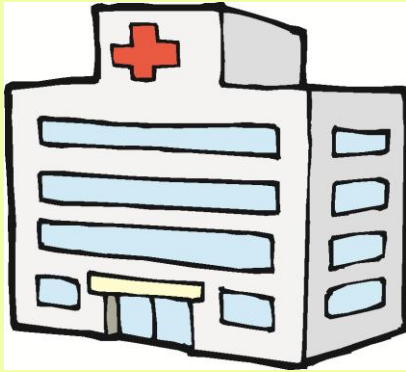
自治基本条例に基づき市民の自主的なまちづくり活動を支援し、個性的で魅力あふれる地域づくりを推進するため、住民自治協議会や市民公益活動団体などに対し助成を行います。

担当課：市民活動推進課

健康・福祉

医療助成費

4億4,885万円



障がい者、一人親家庭及び子どもの医療費の一部を助成します。

- ・心身障害者医療扶助費
1億 602万円
- ・重度身体障害者医療扶助費
1億 1,593万円
- ・一人親家庭等医療扶助費
3,887万円
- ・子ども医療扶助費
1億 4,275万円

(市単独事業)

精神障害者保健福祉手帳所持者の医療費は、対象を現行1級外来までとしていましたが、今年度から2級外来分まで対象を拡大します。

- ・心身障害者医療扶助費 1,630万円
- ・重度身体障害者医療扶助費 30万円

担当課：保険年金課

予防接種業務経費

2億4,266万円



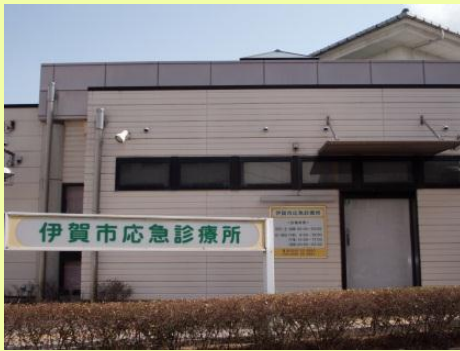
乳幼児・児童・高齢者等への予防接種事業や助成事業を実施しています。

- ・定期予防接種（一類疾病）業務委託料
9,702万円
- ・定期予防接種（二類疾病）業務委託料
3,156万円
- ・乳幼児インフルエンザ予防接種業務委託料
780万円
- ・子宮頸がん等ワクチン接種業務委託料
1億 54万円

担当課：健康推進課

地域医療対策事業

1億6,356万円



安定的な二次救急医療体制を構築するため、関係機関と連携を深めるとともに、夜間・休日における一次救急医療の充実を図るため、伊賀市応急診療所を開設しています。また、救急医療や応急処置等に24時間・年中無休で電話相談できる救急相談ダイヤル24事業を実施しています。

＜救急医療事業＞ 8,470万円
電話医療相談サービス委託料 731万円
病院輪番制運営費負担金 3,062万円
2次救急医療負担金 1,400万円
病院群輪番制維持確保対策負担金 2,599万円

＜応急診療所管理運営事業＞ 7,886万円

担当課：地域医療対策課

障害者自立支援給付事業

12億5,033万円



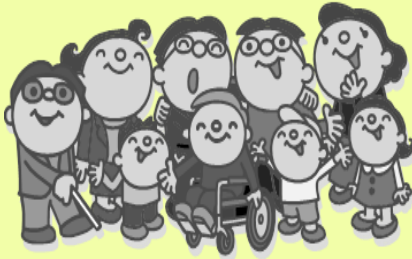
障がい者及び障がい児が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスに係る給付やその他の支援を行い、障がい者及び障がい児の福祉の増進を図ります。また、障がいの有無にかかわらず市民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的としています。

介護・訓練等給付費 10億6,202万円
自立支援医療給付事業 7,687万円
補装具給付事業 1,440万円
地域生活支援事業給付費 9,318万円
育成医療給付費 386万円

担当課：障がい福祉課

老人クラブ活動等事業費補助金

1,618万円

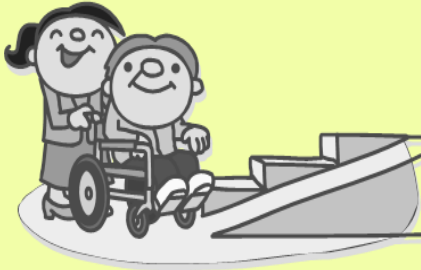


高齢者の生きがいの創出と孤独化の防止や地域での高齢者のつながりを強めることを目的とした老人クラブの活動に対して助成を行います。

担当課：介護高齢福祉課

地域福祉体制づくり事業

966万円



一人暮らし高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域の体制づくりを構築するため、「地域ケアネットワーク会議」を立ち上げ、生活課題やニーズの把握を行います。

担当課：介護高齢福祉課

子育て包括支援センター費

652万円



昨年オープンしました「子育て包括支援センター」には、毎日多くの親子連れの方にお越しいただいており、今後も多くの方々に利用していただけるよう事業の充実に努めます。

担当課：こども家庭課

ファミリーサポートセンター運営事業

427万円



ファミリーサポートセンターは子育てを助けてほしい人（依頼会員）の要望に応じて、子育ての手伝いができる人（提供会員）を紹介し、一時的にお子さんを預かる会員組織です。

担当課：こども家庭課

放課後児童対策事業

4,343万円



保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業終了後に適切な遊びや生活の場を確保し、健全な育成を図ります。



担当課：こども家庭課

保育所（園）耐震対策事業

3億7,403万円



耐震診断を行った結果、壬生野保育園については耐震基準を満たしていないことから、耐震補強を行います。

また、しろなみ保育所においては間柱の接合部に变形が見られるとともに、耐震基準を満たしていないため、保育所を新築します。

- ・壬生野保育園耐震補強事業 6,951万円
- ・しろなみ保育所整備事業 3億452万円

担当課：こども家庭課

女性相談事業

206万円



DV、その他困難な問題を抱える女性市民などからの相談に応じ、自立にむけて支援します。

どうしてもよいのかわからない時、身近に相談相手がない時、一緒に問題解決の方法を考え、安心して生活ができるようお手伝いします。

担当課：こども家庭課

生活・環境

災害や火災に備える

1億9万円



- 消防ポンプ自動車等購入費 **7,760万円**
 - ・小型車 2,940万円
 - ・タンク車 3,780万円
 - ・支援者Ⅲ型 1,040万円
- 防災基盤整備事業 **2,249万円**
 - ・耐震性防火水槽新設工事費 1,500万円
 - ・機械器具購入費（小型動力ポンプB3級） 749万円

担当課：消防総務課、消防救急課

震災に備えた耐震化の推進

3,720万円



<個人住宅への支援メニュー>

- 個人住宅耐震診断支援事業 **315万円**
45,000円×70件分
- 住宅・建築物耐震改修等事業補助金 **3,380万円**
 - *耐震改修等事業補助金 2,260万円
113万円(200万円の工事の場合)×20件分
 - *耐震補強設計事業費補助金 320万円
16万円×20件分
 - *耐震リフォーム事業補助金 800万円
40万円×20件分
- 災害時要援護者住宅家具固定事業用具取り付け **25万円**
5,000円×50件分
(市が取りまとめの上、三重県建設労働組合上野支部が無償で取り付けを行います)

担当課：建築住宅課

合併処理浄化槽設置整備事業補助金

6,085万円



生活雑排水などによる水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽を設置しようとする方に、その設置に要する費用の一部を補助しています。

担当課：下水道課

ごみ収集経費

3億6,379万円



長期的視点に立った一般廃棄物処理基本計画に基づき、一般廃棄物の収集、運搬、処分について定めた一般廃棄物処理実施計画を毎年度策定し、効率的な収集と適正処理に努めます。

担当課：清掃事業課

多文化共生事業委託料

249万円



多文化共生社会を推進するため、多言語情報紙や外国人児童生徒の学習支援をはじめ、地域における啓発事業を行います。

担当課：市民生活課

消費者行政事務経費

219万円



消費生活相談嘱託員を1名配置し、消費者の権利の擁護と自立支援を目的として、消費生活上の苦情についての相談・あっせんを行います。

担当課：市民生活課

教育・文化

学校施設耐震補強改修事業

1億6,458万円



安心・安全な教育環境づくりと、災害時の応急避難場所とするため、学校施設の耐震化を実施します。(24年度繰越事業)

担当課：教育総務課

中学校施設改修事業

2億2,217万円



崇広中学校、霊峰中学校及び大山田中学校に冷暖房設備を設置します。(24年度繰越事業)

担当課：教育総務課

通学路整備事業

1,225万円



警察署・三重県・伊賀市で実施した緊急合同点検の結果に基づき、安全に通学できるように整備します。(24年度繰越事業)

担当課：建設1課・建設2課

人権啓発推進事業

1,961万円



人権フェスティバルや地区単位での講演会・懇談会を開催することで、人権を尊重するまちづくりを目指します。

担当課：人権政策・男女共同参画課

上野運動公園野球場改修事業

4,504万円



25・26年度の2カ年で野球場を改修します。25年度は内野・ダッグアウトなどの改修を行います。

担当課：スポーツ振興課

スポーツ活動振興事業

2,164万円



伊賀上野シティマラソン・青山高原つじクォーターマラソン・伊賀フットボールクラブなどの運営を支援し、スポーツの振興を図ります。

担当課：スポーツ振興課

文化財保存整備事業

3,663万円



国史跡上野城跡や国史跡旧崇廣堂の保存整備事業、国史跡伊賀国庁跡の公有化事業を実施します。

担当課：文化財室

俳句のくにづくり拠点施設建設事業

168万円



(仮称)芭蕉翁記念館の建設に向けて、(仮称)芭蕉翁記念館基本計画に基づいた事業計画等の検討を行います。

担当課：企画課

産業・交流

小規模事業資金融資制度保証料補助金

965万円



小規模事業資金融資制度の資金利用者に対し、三重県信用保証協会へ支払った保証料の補助を行います。

担当課：商工労働課

工場誘致奨励金

2億2,056万円



企業誘致により雇用の場を増やすため、工場誘致条例に基づき立地した企業に工場誘致奨励金を交付します。

担当課：商工労働課

産学官連携研究開発拠点運営経費

1,949万円



産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」で産学官民の連携による共同研究、新産業創出及び人材育成などを推進するため、設管理運営補助金を支出します。

担当課：商工労働課

緊急雇用創出事業

7,520万円



離職を余儀なくされた失業者に対し、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供するなどの事業を実施し、生活の安定を図ります。

担当課：商工労働課

生活基盤

伊賀鉄道活性化促進事業

6,987万円



通勤・通学の交通手段や市民生活に密着した移動手段として機能している伊賀線の活性化のため、伊賀鉄道株式会社に対して運営費の補助を行うとともに、児童や生徒の団体利用に対しての助成や、その他の利用促進に向けた取り組みを行います。

担当課：企画課

行政バス運行経費

9,440万円



高齢者などの移動手段を確保するため、行政バス（しらさぎ号など）を運行します。地域住民のニーズや利用実態を把握し、交通計画に沿った効率的な運行を行います。

担当課：企画課

ゆめが丘摺見線道路改良事業

5億2,800万円



市道ゆめが丘摺見線は、ゆめが丘から広域農道に連結し、国道165号までを結ぶ路線です。伊賀市の南北をつなぐ道路として重要な路線であることから道路改良工事を実施します。（一部24年度繰越事業）

担当課：建設1課

しらさぎ運動公園整備事業

4億1,520万円



伊賀市防災計画に位置付けた地域防災拠点の公園として、また、生涯スポーツのニーズに対応するとともに、誰もが幅広く利用できる多機能な役割を担う公園として、公園整備を行います。（24年度繰越事業）

担当課：都市計画課